Keiichi Kobayashi Official Release

KOBAYASHI PLANNING

PARTNERS

VAPSn XPEL Car Protection Specialist

TWS

OTG OSAKA TOYOPET GROUP

Asuka

PLOT2

Revier HIGH QUALITY CUSTOM PARTS

REIZ HIGH QUALITY CUSTOM PARTS

Kobayashi Planning Co., Ltd

▶ Race Report

PETRONAS TWS GS350
劣勢予想されたSUGOで2戦連続となる3位表彰台を獲得！！

20 May, 2012

■公式予選　【天候】　晴　【コース】　ドライ

2012年スーパー耐久シリーズ第3戦の舞台は、宮城県に位置するスポーツランドSUGO。ここSUGOのコースレイアウトはアクセルを踏みながら旋回するコーナーが多く、さらにアップダウンにも富む典型的なテクニカルサーキット。PETRONAS TWS GS350は前戦もてぎで初表彰台獲得となる3位に食い込んでみせたが、ここSUGOはそのもてぎとはまた異なるレイアウトという事もあり、「GS350にとっては最も苦手なタイプのサーキットかもしれない」と、苦しい戦いを強いられる可能性も念頭に置いての走り出しとなった。

今回の第3戦は、開幕戦以来の1dayレース。金曜日に30分×3本、土曜日には1時間×3本の占有走行セッションが行われ、予選、決勝は日曜日の一日で行われる事となる。PETRONAS TWS GS350は雨に見舞われた金曜日の走行、一転晴天に恵まれた土曜日の各セッションで様々なセットアップにトライ。「一発のタイムはまだまだ遅れている」としながらも、フリー走行で行う予定だったプログラムは全て消化、いくつか出ていたトラブルも解消し、日曜日の公式予選を迎える事となった。

そして絶好の好天に恵まれ行われた公式予選。まず最初のAドライバー予選に挑んだのは吉本選手。その吉本選手は前戦もてぎでの予選と同様、決勝も見据え前日までのセットアップから更なるトライを重ねるべく新しいセットでコースイン。しかし、GS350はいくつかの特認を受けているマシンながら車重においては同クラスのトップを行くマシンと200kg近い差がある事もあり、ここで吉本選手がマーク出来たタイムは1'32"885。その後行われたBドライバー予選での佐藤選手も吉本選手のタイムに迫る1'32"914をマークしたものの、合算タイムでの結果は10番手。午後の決勝は苦しい位置からスタートを切る事が決まってしまったが、その後行われたCドライバー予選で小林が好タイムでラップを重ねると、ここで試したレースセットのフィーリングが上々。1dayレースでは決勝レースに向けたセットアップを確認する時間が少ない事がネックとなる事が多いが、小林の走りで前戦同様にレース中のポジションアップを確信するものとなった。

■決勝　【天候】　晴　【コース】　ドライ

公式予選セッション同様、青空の下で行われることとなった決勝レース。気温は24度、路面温度は47度と、5月とは思えぬほどのコンディションとあって、マシン、ドライバーにとって過酷な戦いになることも予想された。午後１時38分に切られたスタートでPETRONAS TWS GS350のステアリングを握ったのは第2戦に続きドライバーとしての参戦となった小林敬一。OTG Motor Sportsは前日からレースストラテジーを入念に確認、様々なシチュエーションに対応出来るようにと細やかなシュミレーションを行って第3戦のスタートを迎える事に。するとこのシュミレーションがスタート直後から大きな意味を持つ事となる。

ピットスタートとなった1台を除く44台が一斉にグリーンシグナルの点灯と同時に加速、3時間先のチェッカーを目指す戦いの火蓋が切って落とされたスタート直後の３コーナー、ここでいきなりのアクシデントが発生する。ST-3クラスのassetテクノZ33が姿勢を乱してスピン、これにST-4クラスのマシンが激突。幸い各ドライバーに大きな怪我は無かったものの、パーツが大量に散乱したこともあり、ここでセーフティカーが導入されることに。この混乱の最中、入念なシュミレーションを行っていたPETRONAS TWS GS350＆小林は迷うことなくこのタイミングでピットイン。この判断が後のレース結果に大きく影響する事になる。ここでPETRONAS TWS GS350は素早くアウトラップ、フォーメーション、レース2周で減った計4周分の燃料補給を行い、同時にドライバー交代も終え佐藤選手がコースへと戻っていく。後は1回のルーティーンストップでドライバー交代の義務を消化できる状態を作り上げたPETRONAS TWS GS350。するとここから佐藤選手が59周に渡り燃費を考慮しながらも安定したラップを刻み続け、レースの約半分を終えたタイミングでピットイン。ここで最終スティントの吉本選手へとステアリングを託していく。

しかしコースに戻った吉本選手を待っていたのは、コース幅の狭いSUGO特有のトラフィック。6クラス40台以上のマシンが走行するコース上では、常にクラス違いのマシンが入り乱れ、至る所でバトルが展開されており中々本来のペースで走る事が出来ない。それでも吉本選手は冷静に状況を把握、現状で出し得るベストなラップタイムをマークし続け、気がつけばポジションは3番手、さらに2番手を行くマシンのテールが視野に入る位置にまで追い上げていく。結局最後はわずかに2秒足らず3位のままチェッカーを受ける事になったものの、レースストラテジーの妙、そして今あるマシンのポテンシャルを最大限に引き出し続けた3ドライバーの実力により、苦手とみられたSUGOラウンドで見事2戦連続となる3位表彰台を獲得、シリーズランキングでも4位に浮上する事となった。

12' Super Taikyu Series Round 3 / SUGO
2012.5.20 (sun) Qualify & Final

【OSAKA TOYOPET motor sports report】 http://www.osaka-toyopet.jp/contents/motor-sports-report/
【OTG Motor Sports Club blog】 http://blog.zaq.ne.jp/otgmsc/
【Super Taikyu Series Official Site】 http://www.supertaikyu.com/
【Keiichi Kobayashi Official Site】 http://www.koba-pla.net/

KOBAYASHI PLANNING

Keiichi Kobayashi Official Release

小林敬一 コメント

20 May, 2012

今回は自分の最も好きなコースだったので自分のパフォーマンスができなかったことはとても残念だったけど、あのタイミングのピットインが最終的にリザルトに繋がったと思う。じっくり前日にミーティングを行っていたのでスタッフ全員落ち着いてピット作業もできとてもよかった。

次戦までまた時間が空くけど、次のレースでは3位以上の結果を出せる様にテストで更に開発を進めたいと思います。

【OSAKA TOYOPET motor sports report】 http://www.osaka-toyopet.jp/contents/motor-sports-report/
【OTG Motor Sports Club blog】 http://blog.zaq.ne.jp/otgmsc/
【Super Taikyu Series Official Site】 http://www.supertaikyu.com/
【Keiichi Kobayashi Official Site】 http://www.koba-pla.net/

PARTNERS

VAPSn XPEL Car Protection Specialist

TWS

信頼と安心のネットワーク OTG OSAKA TOYOPET GROUP

Asuka

PLOT2

Revier HIGH QUALITY CUSTOM PARTS

REIZ HIGH QUALITY CUSTOM PARTS

Kobayashi Planning Co., Ltd